

## 推進目標Ⅱ 生きる力を支える豊かな心と健やかな体の育成

基本方向3 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

基本方向4 心身の健やかな成長を促す教育の推進

### 現状と課題

今日、我が国において、少子高齢化、経済的なグローバル化が進展し、子どもを取り巻く社会環境が目まぐるしく変化する中、子ども達においては、学ぶ意欲の低下、規範意識の低下や人間関係の希薄化など、様々な課題が指摘されています。

猿払村においては、各学校で道徳教育の指導計画の整備が行われ、子どもの興味や関心を高める資料の活用を図った道徳の時間の指導が進められています。また、子どもの健やかな成長を願った健康教育も進められ、「豊かな心」「健やかな体」を高める教育活動が展開されています。しかしながら、近年はパソコン・携帯電話・スマートフォンなどによる「見えにくいじめ」の存在も危惧され、さらに、これらへの依存からくる生活習慣の乱れや学習意欲の低下など新たな課題も現れてきています。

今後は、子ども一人ひとりに集団の中での望ましい人間関係の育成や、個人及び社会の一員としてのあり方、望ましい生活習慣の確立などをおして思いやりの心や豊かな心を育み、健やかな体を育成することが必要です。

### 3 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

観 点	方 策
8 道徳教育の充実	<p>① 道徳の時間（特別の教科道徳）を要とした学校の教育活動全体での道徳教育の計画を整備し、子どもの発達段階を考慮して、適切な指導の推進を図る。また道徳教育推進教師を中心とした、学校全体での組織的かつ機能的な体制を確立する。</p> <p>② 学校・家庭・地域との連携、集団宿泊活動、職場体験活動、ボランティア活動、自然体験活動（どろんこ広場）などの豊かな体験をおして子どもの内面に根ざした道徳性の育成が図られるように推進する。</p> <p>③ 子どもの発達段階や特性等を踏まえ、指導内容の重点化を図る。「私たちの道徳」等を有効的に活用し、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養うように推進する。</p>
9 読書活動の推進	<p>① 朝読書などをおして、子どもの望ましい読書習慣と読書好きの子どもを増やす取組みを工夫する。</p> <p>② 家庭や地域と連携して読み聞かせボランティアなど子どもの読書活動を広げ、親子で望ましい読書習慣の定着を図る取組を工夫する。</p> <p>③ 子どもの読書活動が促進するよう、移動図書館や学校図書室の整備・充実を図る。</p>

<p>10 体験的な活動の充実</p>	<p>① 特別活動や総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の年間指導計画に体験的な活動を位置付ける。</p> <p>② 学ぶことの楽しさや成就感を体得できるよう、発達段階に応じた体験的な活動を工夫する。</p> <p>③ 地域における行事等との連携を図り、地域行事等への積極的な参加を促す取組みを工夫する。</p>
<p>11 生徒指導・教育相談の充実</p>	<p>① 「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、適切な対応を行なうとともに、「集団づくり」に視点を置いた取組みや道徳教育などを通じて、いじめの未然防止に努める。</p> <p>② 教育計画に教育相談を位置づけ、いじめ・不登校や子ども理解の研修を深め、実践的な対応や指導を身に付ける。</p> <p>③ 保小中連携を密にし、「自尊感情を育てる指導計画」を活用しながら組織的かつ継続的な指導を行う。</p> <p>④ 虐待・不登校など今日的な課題には、学校・地域・関係機関が具体的な連携をし、チームとして対応する。</p>



#### 4 心身の健やかな成長を促す教育の推進

観 点	方 策
12 体力・運動能力の向上	<p>① 子どもの体力の実態を把握し、課題を明確にした上で課題解決にせまる具体的な指導を行なう。また、猿払村学校保健委員会が分析・資料化した「猿払村の児童生徒の健康と体力のまとめ」を活用し、自校での体力づくりプログラムや生活習慣づくりプログラム等を作成する。</p> <p>② 行政が進める活動や地域が主体的に進める活動に積極的に参加し、子どもの体力づくりを推進する。</p> <p>③ 厳しい社会背景や生活現実をふまえながら、家庭への啓発活動（生活リズム・基本的な生活習慣の確立）を行なう。</p>
13 食育の充実	<p>① 家庭や地域と連携をして、「早寝早起き朝ごはん運動」を推進し、その成果の情報提供に努める。学校保健委員会とも連携し、組織的に活動を進める。</p> <p>② 教職員と学校栄養教諭などが協力をして、健全な食生活を実践できる資質・能力の育成を図る。また、教職員が連携し、学校の食に関する指導を充実させる。③地域と連携して、郷土への愛情を育むような地産地消を促進する。</p>
14 健康教育の充実	<p>① 学校・家庭・地域の実態に基づいた学校保健計画の作成と改善に努め、健康に関する知識の向上を図る。</p> <p>② 健康な生活への実践的な態度の育成をめざし、健康増進を図るための基礎知識を習得する保健指導の充実を図る。</p> <p>③ 食物アレルギーや歯・口腔の健康づくり、薬物乱用、心の健康等に関する正しい知識を習得させ、健康指導の充実を図る。</p> <p>④ 命の尊重や生き方を考える性教育の指導の充実を図る。</p>
15 安全教育の充実	<p>① 自らの命を守り、他人の命を尊重する判断力と行動力を育てる安全教育の充実を図る。</p> <p>② 安全意識の高揚と主体的に行動できる資質や能力、危険を予測し、的確に回避・対処する能力を育成する指導の充実を図る。</p> <p>③ 自然災害、火事、不審者の侵入などに備えた学校の安全確保対策と防災・防犯教育の充実を図る（避難訓練や防犯訓練の充実）。</p> <p>④ 登下校時等の事故防止指導と安全確保のため、家庭や地域、関係機関との連携を進める。</p>

## 推進目標Ⅲ 期待され、信頼される学校づくりの推進

基本方向5 魅力ある学校づくりの推進

基本方向6 教職員に対する信頼性の向上

### 現状と課題

期待され、信頼される学校づくりのためには、地域の特性を生かした魅力ある教育活動を進めるとともに、学校評価を活用して絶えず学校課題を明確にし、全教職員が課題解決に一体となって取り組んでいく学校改善を進め、その成果を保護者や地域と共有する確かな学校づくりが求められています。また、教育の直接の担い手である教職員の資質・能力の向上と学校種間の連携・接続により、子どもの能力・個性等を伸ばす教育を進めることも重要です。

猿払村においては、教職員の意欲的な経営参加を基盤に、保護者の願いと地域の期待に応える学校づくりが進められているとともに、猿払村連携教育推進会議を中心とした保小中連携やPTAを仲立ちとした保護者・地域との連携が進んでいます。また、村教育研究会や各学校においては、それぞれの実態に即した課題の解決と指導力の向上を図る研究・研修が積極的に進められ成果を上げています。

今後は、実効性のある学校評価の実施、子どもの個性・能力を最大限に伸ばし、進学時のつまづきをなくす学校種間の円滑な接続と連携の推進、へき地・小規模のよさを生かした教育や主体的・協働的な学習の充実、学校ビジョンの実現を目指す校内研修、授業研究を中心とした教員の指導力向上など、猿払村の実態に即した創意と活力ある学校づくりを推進することが必要です。

### 5 魅力ある学校づくりの推進

観 点	方 策
16 特色ある学校づくりの推進 (開かれた学校づくりの推進、学校の施設・設備の充実を含む)	① 学校評価結果や教育活動等の情報発信に努めるとともに、保護者・地域住民、学校評議員会等の教育関係者の意見・要望を教育活動に取り入れ、信頼される学校づくりを進める。 ② 地域の特性を把握し、その活用を指導計画に位置付け、地域の願いを踏まえた特色ある教育活動を進める。 ③ 地域の人材や自然環境、産業や文化などの教育素材で学び、地域の教育力を生かし、「ふるさと」に愛情と誇りを持ち、意欲的に学習する教育活動を進める。 ④ 子どもの安全確保と災害時の地域の防災施設として、校舎等の改修などについて優先度を判断し、計画的に整備を進める。 ⑤ 子どもが安心して学習活動に取り組めるよう、学校の施設設備の充実に努める。

17 へき地・複式教育の充実	<p>① 複式での主体的な学習を促す「間接指導」や「直接指導」の充実に努めるとともに、子ども一人一人の課題を把握し、思考力や表現力を高める指導計画を作成する。</p> <p>② 子どもが相互に認め合い、励まし、育ち合う異年齢集団となるような教育活動を進める。</p> <p>③ 保護者や地域の願いや各複式校の実態を踏まえ、はまなす学校を含めた子どもの成長につながる交流学習を進める。</p>
18 学校間の連携・接続の推進	<p>① 猿払村連携教育推進会議作成の「発達のマトリクス」や「自尊感情育成指導計画」を活用し、的確な児童生徒理解と子どもの学びの連続性を大事にした保小中連携の取組みの推進に努める。</p> <p>② 猿払村教育研究会との連携を図りながら各学校間の公開授業の実施とさらなる相互授業参観・共同研究を推進する。</p> <p>③ 社会教育分野や猿払村PTA連合会との連携を強め、保育所・学校・家庭・地域ぐるみで子どもの成長を支援し合える取組みを進める。</p>

## 6 教職員に対する信頼性の向上

観 点	方 策
19 教職員の資質・能力の向上	<p>① 北海道立教育研究所の研修講座や先進地域への視察をとおして、優れた事例について学び、校内外へ還元する。</p> <p>② 教職経験や教員個々の特質に応じた研修を計画的に進め、校内研修の質的改善を進める。</p> <p>③ 教職員一人ひとりの特性を引き伸ばす教職員評価を適切に実施する。</p> <p>④ 猿払村教育研究会や宗谷管内教科等研究会への参加をとおして授業改善を図るとともに、他の研究会・研修会・研修講座等への積極的な参加を奨励する。</p> <p>⑤ 教職員の心身の健康維持、法令遵守の徹底、情報管理、服務規律の保持に向けた意識の強化を図る。</p>
20 管理職のリーダーシップによる学校組織の活性化	<p>① 学校経営ビジョンや自校の課題解決に向けた重点を明らかにし、学校力向上に向けた組織運営体制の充実に図りながら、保護者・地域住民の理解と協力が得られるように説明責任を果たす。</p> <p>② いつでもどこでも起こりうるいじめや不登校などの生徒指導上の諸問題や、多様化する家庭や地域のニーズに対応する指導体制の充実に図る。</p> <p>③ 教職員の学校経営参画意識を高め、ミドルリーダーの計画的な育成に努める。</p>